



SSTK 社会福祉法人埼玉のぞみの園

# 法人だより No.10

編集 埼玉のぞみの園法人本部 〒369-1105 埼玉県深谷市本田3343 編集責任者 理事長 山崎 勝  
発行 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 〒332-0011 埼玉県川口市元郷1-10-13

定価1部 50円



桜の花びらが舞う4月4日春の日  
に、無事春日園の改築工事竣工式な  
らびに祝賀会を開催する事ができま  
した。度重なる雪の影響で、工期が  
延びに及び、関係各所の皆様に多大  
なるご心配をおかけしました。また  
ご利用者の皆さんも「いつできるの  
か」と新しい建物への期待と不安  
が大きかったと思います。職員一同、



西側道路より居室棟を望む。



前庭より新春日園食堂外観。

## 春日園改築工事

ご利用者達にご負担をかけまいと精一杯努力をしましたが、ご不便をおかけした事、改めてお詫びを申し上げます。

内覧会や竣工式では、来賓の皆様をはじめ地域の皆様、利用者ご家族等、大勢のお客様をお迎えして、新しい春日園をご覧いただきました。お客様へは、工房自慢の焼き菓子をご用意したり、設計士さんや施工をお願いした建設会社の方へ感謝状をお渡ししました。

また埼玉グランドホテル深谷において行いました竣工式では、平日の昼間に重忠太鼓保存会の皆様を披露してくれ、勇壮な演奏を披露してくれました。



来賓の皆様と記念撮影。



竣工式風景。

さいま披露してくれ、勇壮な演奏を披露してくれました。



ヨイショ〜の掛け声も高らかに♪



お花を多数頂きどうもありがとうございました。

埼玉県立熊谷養護学校のPTAの親御さん達がワカメ販売で資金を集め、障がいを持つ子供達の進路の為に設立された民立民営では埼玉県下の初、埼玉のぞみの園春日園の輝かしい歴史に恥じない未来を、この新しい建物と一緒に築いていければと切に思います。

追いかけて欲しいです。当時の施設長だった故茂木園長が知つたらさぞ喜んでくれるだろうと胸が熱くなりました。先輩達の頑張る背中を、今の若い利用者さん達もぜひ追いかけて欲しいです。



重忠太鼓保存会の皆様。

その中には、17年前に春日園で実習をされた方もおいで下さり、演奏前にお祝いの言葉を頂戴しました。現在は独立された。

**新職員紹介**  
4月1日より、本法人に4名の職員が加わりました。3か月間各事業所で研修を行い、7月1日に配属先が決定します。これからよろしくお願い致します！

 みやの みな 宮野未菜 職員 利用者の皆さんが充実した日々を送れる様に精一杯頑張ります。	 ひらの たかひろ 平野貴洋 職員 笑顔になれるサービスを提供できる様に精一杯努力していきます。	 こじま あさみ 小嶋麻美 職員 早く仕事を覚え皆さんの楽しい生活作りに貢献できる様頑張ります。	 くらた ともこ 倉田智子 職員 利用者の皆さんに笑顔を届けられる様に頑張ります。
---	--	--	---

▼ご寄付のご協力者  
杉田知雄  
▼後援会のご協力者  
出島久雄

平成26年1月〜3月  
ご協力ありがとうございました。  
(順不同 敬称略)

**新住居表示&電話番号のお知らせ**

春日園 〒369-1105 深谷市本田3126  
電話番号048-577-6661  
FAX番号 048-577-6662  
第2春日園 〒369-1105 深谷市本田3342  
電話番号048-583-5451  
FAX番号 048-583-5498

※H26年3月15日〜春日園改築により住居表示および電話番号・FAX番号が変更致しました。

- 法人活動報告**  
平成26年1月〜3月
- 1月6日 新春講演会
  - 1月14日 工賃向上マネージャー研修
  - 1月20日 入所施設建設検討会
  - 1月22日 庶務連絡会
  - 1月23日 春日園改築工事中間検査
  - 2月1日 理事会・評議員会・新年会
  - 2月21日 人事考課委員会
  - 2月24日 入所施設建設検討会
  - 2月26日 庶務連絡会
  - 2月26日 消費税研修
  - 2月28日 春日園完成時検査
  - 3月13日 施設長会議
  - 3月14日 実習指導者研修
  - 3月16日 電話本移設工事
  - 3月16日 理事会・評議員会
  - 3月18日 認定審査会研修
  - 3月19日 共助会理事会
  - 3月24日 KASUGA検査
  - 3月27日 入所施設建設検討会
  - 3月27日 庶務連絡会
  - 3月31日 人事考課委員会
  - 6月7日 法人レクリエーション
  - 6月13日 職員交流会
  - 6月13日 親睦ゴルフコンペ



マロウドイン熊谷にて新年会を行いました。

**【編集後記】**  
気づけば、今年も春日園の改築竣工式が近づいてきました。今年も植樹された木々も新緑やお花が咲いたように、ご利用者の笑顔もあふんできました。今年もこの期間の法人の主な取り組みのご紹介でした。

■今後の予定  
○6月7日 法人レクリエーション  
○6月13日 職員交流会  
○6月13日 親睦ゴルフコンペ

(齊藤)

【法人本部連絡先】 〒369-1105 埼玉県深谷市本田3343 (電話)048-594-6511 (FAX)048-594-6512 (HP)http://nozominosono.jp 埼玉のぞみの園で検索を！各事業所のブログご覧になって下さい！！



☎048-511-1714



可愛いデザインが好評です！大切に使用します。

『日本財団様より  
福祉車両を頂きました。2月20日納車して頂きました。年間かなりの距離を走る為、新しい車もすぐベテランの域です。』

### のぞみ深谷営業所

☎048-583-5451



ワンちゃん達のショーや手に汗握る空中アクトを楽しみました！

『ポップサーカスにご招待いただきました。4月10日、埼玉県社会福祉協議会様のご招待でサーカスを鑑賞しました。ありがとうございました。』

### 第2春日園

## 事業所のニューコース



送迎コースのお問い合わせは！こちらまで。  
☎ 048-588-6890（平日8:00~17:00）



『送迎コースを見直しました』  
より多くの方に作業所をご利用頂くため、昨年度の整備事業として、共同募金会へマイクロボスの助成申請をした所、配分を決定して頂きました。今年度より熊谷方面から籠原方面への送迎が可能になり、今まで以上に通所をご希望の方へ、サービスの提供ができるようになりまし  
ぜご利用ください！

### 妻沼つくし作業所

☎048-578-7882



↑「とびた」に手すりを設置。転倒防止に備えました。

『全ホームスプリンクラー設置完了！』  
他のホームはすでに設置済でしたが、埼玉県の補助金により「KASUGA」にも設置が叶いました。火の用心！は継続して注意していきます。

### のぞみの園ホーム

☎048-572-1668



ホテルのプライベートビーチにて☆

『グアム旅行へ行きました』  
開所30周年記念事業として、三泊四日のグアム旅行へ18名で行って来ました。「いざ！グアムへ」を合言葉にワクワクドキドキのとても楽しい旅行になりました！

### 深谷市立たんぼぼ作業所



つくし作業所の除雪作業。



たんぼぼ作業所のテラス破損。

3月10日の大雪により、たんぼぼ作業所のテラスが折れてしまいました。法人全体ではこの被害のみで、特段ご利用者に大げな等無く、不幸中の幸い...といったところです。  
妻沼つくし作業所では、地域の方が重機を使い除雪をしてくださり、改めて御礼申し上げます。ご利用者の入居する春日園やのぞみの園ホームでは、車が動かせないため、職員が片道3時間かけて施設に向かったりと、本当に大変な積雪でした。

### 雪被害のご報告



解体工事風景。



引越風景。

ルが過ぎていく中で、ご利用者さん達は授産作業を休むことなく続け、『さすが授産で名を上げた春日園！』と言いたくなる頑張り、職員達もたくさん勇気をもらいました。



旧春日園食堂の壁に書かれたメッセージの数々...

職員総出の引越、そして旧春日園の解体と、めまぐるしくスケジュー

3月10日より旧春日園の解体工事が始まりまし。古めかしい建物で馴染みのない方は『なんて古い建物！』と思われたと思いますが、古くから在籍する職員や、とりわけご利用者様たちは名残惜しい方も多かったよう旧春日園食堂の壁には、メッセージがた

### 「やめじやう」：旧春日園

### 喜びの声

『新しい春日園の住みごこちはいかがですか？』

『キレイ!!』  
『お風呂が入りやすくなった』  
『シャワーのお湯がよく出る』  
『トイレが多いから便利』  
『廊下が広くて、車いすでもすれ違える』

★今までご不便をおかけしました。『廊下で運動ができる!』  
車いすでも平日でも30周している。お陰で痩せられた。』

★見習いたいです(汗)

『以前よりも、部屋のプライバシー空間が守られる』  
★プライバシーへの配慮は大切にすよね。

新しい春日園の感想をお聞きすると、皆さん様に晴れ晴れとくつろいだ表情をされます。慣れるまで時間のかかる方もいらっしゃるが、改築コンセプトは「明るい・圧迫感がない・重度化に対応できる施設」でした。様々な苦労はありましたが、ご利用者の安心され満足したお顔を見ることができたので、まずは及第点でしょうか。まだご覧になつてない方は、ぜひ新春春日園へご見学にいらしてください。

### 「慶祝 春日園竣工」



(H26年4月4日撮影)

平成始めの頃、春日園はボロボロだった。当時を思い、今、新装成った春日園を眼前にして、正に感無量です。

築十年を超えた居室への雨漏りは毎度の事、ボイラーもキューピクルも限界。水道管は破裂し、垂れ流しの下水は青カビでヌルヌル。通所希望者を受け入れる余地もなし。わずか月一万円の工賃を稼ぐのも難しかった。でも、キビキビ動き回る職員も、狭い部屋に四人もで暮らす利用者も、それぞれとても元気で明るく、いつも笑顔と夢を持っていた。戦後から立ち上がりやと障害を持つ人にも、これから人として生きられる社会の芽が感じられていたのかも知れない。  
佐渡への船の旅、沖繩への空の旅、夢はここまでつながつて花咲いた新しい春日園。これからも地道な努力と豊かな夢を忘れることなく地域にのぞみの光を放ち続けて下さい

### 「春日園竣工おめでとう」



(H26年4月4日撮影)

『人 埼玉のぞみの園』  
思わぬアクシデントに見舞われ難題山ほどの中、無事にこの日を迎える事ができ、この喜びを皆さんと共有できる幸せをかみしめています。

願いますと昭和49年、子供達の進路問題に直面した私達は、自分達の施設作りを取組むことにしました。施設建設の趣意書と資金作りの為のワカメを携え、役場近隣の会社・学校を訪問し、障がい児の現状を訴え続けたところ、市町村長会から支援の申し出を頂き、目標を達成する事ができました。そして授産施設春日園が昭和52年、多くの方の御協力により設立しました。その後歴代の園長、職員皆様の絶えざる努力により、年々施設は充実・発展を遂げ、今日の繁栄をみるに至りました。  
今後更なる安心のため、高齢化による二次障害、親亡き後の対策等、家族が共に取組み協力を続ける事が、大きな力になると信じています。



### 春日園…今までありがとう。



あの日、みんなと一緒に見た虹…今はそこに新しい春日園が。



### 新春日園これからよろしくね!



## 埼玉のぞみの園 理事長山崎が伝えたい話 第3回 『人生のステージ』

朝は4本足、昼は2本足、夕は3本足で歩くものは何でしょう…

その様な謎々を子供の頃に聞いた覚えがあります。人の一生を朝昼晩に例えての事で、赤ちゃんの頃は四つん這いでハイハイをし、老いては杖をつかつての歩行となるという話である事は皆さんもよくご存じの事と思います。

学校を卒業し社会人となった時、自分はとても怖い世の中の一員になってしまったという思いがありました。初月給で初めて寿司屋に行き、並み寿司を同期と食べた記憶があります。その後、3日に一度は焼鳥屋に行くようになってしまいました。



山崎理事長

それはそれで、ある意味稼ぎがあつたから出来た事であり、大人へ

の背伸びした一つの方法だったかも知れません。

結婚して家が欲しいと思い、どこに住もうか楽しみな悩みであつたり、子供が出来てからはどんな体験をさせよう、どこへ旅行しようという子供をダシに随分遊ばせてもらった思いがあります。やがて子供達は親元を離れ自らは体力の衰えを感じ、(ちよと寂しい。)

この様な感じで当たり前ですが、世の多くの方々は年齢や立場でさまざまなステージを体験しているのです。

そこで福祉施設では、同じ様に利用者のステージが提供できているだろうかと考えます。嘗て先輩から『利用者には平等に扱わなければならぬ』と教わりました。お菓子も同じ数を、声掛けも全員にとか云々

他にも事例は多数ありますが、平等とはなんなのでしょう? ご飯の量が小盛りと大盛りでは不平等ですか? 人は腹に入る量がそれぞれ違います。そう考えると、量で考えるのではなく、個々人の充足度で見ると解り易いのではないかと私は思うの

です。要は利用者もいろんな方々がいて年齢もまちまちで、その様な人達を一色くたに考える事は無理が多いのです。

活力のある若いうちは、当然一生懸命働き、汗をかき充実した日々を提供するべきであると思います。そしてお金を貯め自分の楽しみみの為に使って欲しいのです。

孔子にしても30にして立つ、40にして迷わず、50にして天命を知る、60にして耳従うと言うように聖人にも、そのステージがあつたように、老境に至つた利用者には、如何に安心した生活が営めるか、支援内容も個人差が大きく表出してくるようです。

新春日園は機能の重い人の為に生まれ変わりました。かと言って、全ての人と一緒に重くなった訳ではありません。今重い人、近い将来重くなる人など多々状況が違い、また当然支援内容も大きく異なつてきてると痛感する今日この頃です。

大好評! 新鮮トマトの購入はご予約頂いた方が確実です。地粉を使ったパンも毎日焼いていますよ(#.#)

**第2春日園 はる工房**  
Tel.048-583-5451

製本等ご注文承ります! まずはお相談ください。

**毒沼つくし作業所**  
Tel.048-588-6890  
\* tsukushi@nozominosono.jp

化学合成添加物を使わない体にやさしいお菓子の世界。

深谷市立たんぽぽ作業所  
Tel.048-572-1668  
\* tanpopo@nozominosono.jp